

## 執筆 者 紹 介

伊藤博文（いとう ひろふみ）准教授

▽『新・はじめての日本語教育1』（共著 アスク）▽  
『新・はじめての日本語教育 基本用語事典』（共著 アスク）▽「外国人留学生に対する日本語音声教育の試み―韓国入学者を中心―」科研費『日本語音声』報告書  
▽「日本語教師の自己評価・自己研修システムの開発を  
目指して」科研費『日本語教師の教授能力に関する評価・測  
定法の開発研究』報告書

大倉比呂志（おおくら ひろし）教授

▽『平安時代日記文学の特質と表現』（新典社）▽『校注  
堤中納言物語』（編著 新典社）▽『中世日記紀行文学全  
評釈集成』第二巻（共著 勉誠出版）▽『讃岐典侍日記と  
通過儀礼』（『王朝文学と通過儀礼』所収 竹林舎）▽『風  
に紅葉』と『とはすがたり』の共通基盤―〈性の被管理  
者〉から〈性の管理者〉へ―（『日記文学研究』第三集所  
収 新典社）

大島富朗（おおしま とみお）教授

▽『『心中重井筒』と杉山平八』（『近松とその周辺』論集  
近世文学1所収 勉誠社）▽『幽斎連歌―翻刻と解題―  
（上智大学「国文学論集」26）▽『『連哥点取四季 巴叱旨  
如仲琢』―翻刻と解題』（『近世文学俯瞰』所収 汲古書院）  
▽『翻刻細川幽斎和漢・漢和聯句』（『学苑』674・679・683・  
685・690・694号）▽『『細川幽斎発句集』稿』（『学苑』705号）

烏谷知子（からすだに ともこ）准教授

▽『持統天皇論』（『万葉歌人論―その問題点を探る―』所収  
明治書院）▽『倭建伝承の文芸性』（『古事記の文芸性』所  
収 高科書店）▽『古代道行詞章―影媛歌謡を中心に―』  
（『歌謡とは何か』所収 和泉書院）▽『春日皇女の唱和歌  
謡についての一考察』（『古事記年報』39号）▽『天照大  
御神と高御産巢日神―常世から高天原へ―』（『菅野雅雄  
博士喜寿記念 記紀・風土記論究』所収 おうふう）

齋藤 彰（さいとう あきら）教授

▽『徒然草の研究』（風間書房）▽『諷増抄』（新典社）▽  
『新編国歌大観』三・七・十巻（共著 角川書店）▽『大  
歳時記』（共著 集英社）▽『日本古典への誘い100選  
II』（共著 東京書籍）

笛木美佳（ふえき みか）准教授

▽『遠藤周作『女の一生 一部・キクの場合』論―〈場  
合〉を読み解くために―』（『キリスト教文学研究』18号）  
▽『遠藤文学における女性（一）―その概観―』（『学苑』  
795号）▽『遠藤文学における女性（二）―歴史小説の場  
合―』（『学苑』807号）▽『遠藤文学における女性（三）  
―「わたしが・棄てた・女」に流れ込んでいくもの―』  
（『学苑』819号）▽『キャラクターの円環―森田ミツをめ  
ぐって』（『遠藤周作 挑発する作家』所収 至文堂）

吉田弥生（よしだ やよい）非常勤講師

▽「下二段「給ふ」の用法―侍り・候ふとの比較―」  
（『昭和女子大学大学院日本文学紀要』第16集）▽「四段「給  
ふ」と下二段「給ふる」の混乱」（『解釈』第51巻5・6月  
号）▽『夜の寝覚』の「聞ゆ」・「奉る」・「申す」の用  
法」（『昭和女子大学大学院日本文学紀要』第18集）▽『御  
伽草子』における「たぶ」の考察」（『解釈』第53巻11・12  
月号）▽『『天草本平家物語』の授受動詞―『百二十句  
本平家物語』との比較―』（『昭和女子大学大学院日本文学  
紀要』第19集）